

| | | | | | | | |
|-------------------|---|-------------|--|------------|------------|-----------|---|
| 科目ナンバー | INR-2-001-k | | | 科目名 | 国際関係の歴史を知る | | |
| 教員名 | 鈴木 鉄忠、西舘 崇、張 渭涛、呉 宣児、謝志海、岡井 宏文 | | | 開講年度学期 | 2020年度 前期 | 単位数 | 2 |
| 概要 | この講義では、映像資料を活用しながら、20世紀の主要な出来事・事件と大きな歴史の流れを集中的に学習します。過去およそ一世紀にわたる時代は、二度の世界大戦、西欧列強や日本による世界中の植民地化と、それに対する独立運動・新興国の誕生、資本主義と社会主義の激しい対立や紛争、技術・産業の発展による生活様式の激変などがありました。国際コースの2年生全員で、映像資料とその内容を踏まえたディスカッションを行いながら、前世紀の歴史的事件の意味や現在につながる影響を検討します。 | | | | | | |
| 到達目標 | 国際コースの専門科目のほとんどは、現代世界の様々な地域の政治・経済・社会・文化を深く勉強するものです。それら専門科目を十分に理解するためには、19世紀末から21世紀に至るまでの百年程度の世界の大きな流れを知ることが不可欠です。この講義は、国際コースの全学生が押さえておいてほしい基礎事項を集中的に勉強する機会を提供すること、受講生が現代史に関心を持ち、専門科目の内容に、より親近感や問題関心をもつようになること、課題演習に進むための準備学習となることを目標としています。 | | | | | | |
| 「共愛12の力」との対応 | | | | | | | |
| 識見 | | 自律する力 | | コミュニケーション力 | | 問題に対応する力 | |
| 共生のための知識 | ○ | 自己を理解する力 | | 伝え合う力 | ○ | 分析し、思考する力 | ○ |
| 共生のための態度 | ○ | 自己を抑制する力 | | 協働する力 | | 構想し、実行する力 | |
| グローバル・マインド | ○ | 主体性 | | 関係を構築する力 | ○ | 実践的スキル | |
| 教授法及び課題のフィードバック方法 | 講義は国際コースの教員が2～3回ごとに交代で担当します。毎回講義の最初に質問項目と資料のプリントを配布します。映像資料を視聴しながら、内容に関連する質問項目に記入し、提出します。数回ごとに、映像の内容に関連した討議テーマが、レポート課題として与えられます。レポート課題提出の週は、レポート課題のトピックに関して、教員が受講学生の意見を紹介したり、グループ・ディスカッションを行ったりします。 | | | | | | |
| アクティブラーニング | ○ | サービスマーケティング | | 課題解決型学修 | | | |
| 受講条件 前提科目 | 基本的に国際コース所属の2年生を対象とした必修講義ですが、希望者がいれば5名以内に限り、その他の学生の履修を受け入れます。 | | | | | | |
| アセスメントポリシー及び評価方法 | 毎回、視聴覚教材を見ながら記入・提出するミニテストおよびレポート課題により9割が決まります。残りを受講態度により評価します。期末試験は行いませんので、毎回のミニテストとレポートが非常に重要になります。 | | | | | | |
| 教材 | 参考図書に挙げられた書籍から、必要に応じて参照部分を指示します。全員が購入する必要はありません。 | | | | | | |
| 参考図書 | 松岡完(2014)『20世紀の国際政治：二度の世界大戦と冷戦の時代(改訂増補版)』同文館出版、木畑洋一(2014)『二〇世紀の歴史』岩波新書、佐々木雄太(2011)『国際政治史：世界戦争の時代から21世紀へ』名古屋大学出版会、エリック・ホブズボーム(2018)『20世紀の歴史(上)(下)：両極端の時代』ちくま学芸文庫。その他、各講師が、毎回の内容に関係の深い参考図書を紹介しします。 | | | | | | |
| 内容・スケジュール | | | | | | | |
| 1週目 | | | | | | | |
| 授業学修内容 | 半年間の流れや講義の狙い、授業の基本的な留意点等を説明します。 | | | | | | |
| 授業外学修内容 | シラバスを読み、授業の目的や内容等について事前に理解を深めてくること。 | | | | | 時間数 | 2 |
| 2週目 | | | | | | | |
| 授業学修内容 | 第一次世界大戦がどのようにして始まり、最初の総力戦によって戦争の在り方や概念がどのように変化していったのかを扱います。 | | | | | | |
| 授業外学修内容 | ミニ課題図書の主に1章から3章を読み、以下の問いに沿ってまとめなさい。 ・ドイツは、第一次世界大戦と第二次世界大戦はそれぞれ、どのような結果をもたらしましたか。 ・ロシアにとって第一次世界大戦はどのような結果をもたらしましたか。 | | | | | 時間数 | 3 |
| 3週目 | | | | | | | |
| 授業学修内容 | 第一次世界大戦で直接の戦場とならなかったアメリカは、戦後空前の繁栄を謳歌します。その繁栄の中で花開いた大衆消費社会は、20世紀の世界各地の社会に大きな影響を与えることになります。二つの世界 | | | | | | |

| | | | |
|---------|--|-----|---|
| | 戦争の戦間期のアメリカの繁栄と、大衆消費社会の誕生について学習します。 | | |
| 授業外学修内容 | ミニ課題図書の主1章から3章を読み、以下の問いに沿ってまとめなさい。 ・アメリカにとって、第一次世界大戦は、どのような結果をもたらしましたか。 | 時間数 | 3 |
| 4週目 | | | |
| 授業学修内容 | 1929年に始まった世界恐慌は世界各地でファシズムの台頭をもたらし、やがて世界は第二次世界大戦に突入して行きます。4回目では、世界恐慌から第二次世界大戦への経過を、特に第一次世界大戦の敗戦国ドイツに焦点を充てて学習します。また、2回目から4回目の内容に関係したレポート課題が出されます。 | | |
| 授業外学修内容 | 講義の最後に出されるレポート課題を作成し、提出すること(締め切りや提出方法などの詳細は、講義中に指示します)。 | 時間数 | 3 |
| 5週目 | | | |
| 授業学修内容 | 前回の内容に関係したレポート課題に関し、受講学生の様々な意見を紹介し、時間があればグループ・ディスカッションを行います。 | | |
| 授業外学修内容 | | 時間数 | 1 |
| 6週目 | | | |
| 授業学修内容 | 第二次世界大戦について学習します。特にこの戦争が戦場の地理的な広がりのみならず、いかに民間人の犠牲者の数においても史上類をみない大量殺戮戦争になったのかが焦点です。また、内容に関係したレポート課題が出ます。 | | |
| 授業外学修内容 | 講義の最後に出されるレポート課題を作成し、提出すること。 | 時間数 | 3 |
| 7週目 | | | |
| 授業学修内容 | 前回の内容に関係したテーマについて、グループ・ディスカッションを行います。 | | |
| 授業外学修内容 | ミニ課題図書の主1章から3章を読み、以下の問いに沿ってまとめなさい。 ・第二次世界大戦はドイツにどのような結果をもたらしましたか。 ・第二次世界大戦はアメリカにどのような結果をもたらしましたか。 ・第二次世界大戦はソ連にどのような結果をもたらしましたか。 | 時間数 | 3 |
| 8週目 | | | |
| 授業学修内容 | 植民地支配のもとに苦しんだアジアの人々と、独立への道のりについて学習します。インド、中国、インドネシア、ベトナム、韓国など、これまで欧米列強や日本の植民地支配や半植民地的従属の下にあった地域の人々の抵抗と新たな指導者の台頭が扱われます。また、映像に関係したレポート課題がでます。 | | |
| 授業外学修内容 | 講義の最後に出されるレポート課題を作成し、提出しなさい。 | 時間数 | 2 |
| 9週目 | | | |
| 授業学修内容 | 前回の内容に関係した講師の解説、追加の視聴覚教材の視聴、またはグループ・ディスカッション行います。 | | |
| 授業外学修内容 | | 時間数 | 2 |
| 10週目 | | | |
| 授業学修内容 | 第二次世界大戦末期に開催されたヤルタ会談がいかに戦後の世界秩序に影響を与えたか、および第二次大戦後の東西冷戦の始まりから朝鮮戦争の勃発までを学習します。 | | |
| 授業外学修内容 | ミニ課題図書の主1、6章、7章、8章、9章を読み、以下の質問に対して答えてください。第二次大戦後、アメリカ、ソ連とアジア諸国(中国、南北朝鮮、ベトナム、日本など)との関係はどのようなものでしたか。 ・アメリカやソ連は、これらの地域・国々との関係でどのような利益と損失を得ましたか。 ・逆にアジア諸国は、アメリカやソ連との関わりによって、どのような利益と損失を受けましたか。いくつかの例を挙げながら答えなさい。 | 時間数 | 2 |
| 11週目 | | | |
| 授業学修内容 | 第二次世界大戦後の世界秩序の骨格は、アメリカ・ソ連の冷戦によって最もよく理解できます。ここではなぜ「冷戦」と呼ばれるような状態が出現したのかを、特に米ソの核兵器の開発競争に焦点をあてて学習します。 | | |
| 授業外学修内容 | ミニ課題図書の主4章と5章、11章、13章を読み、以下の質問に対して整理して答えてください。第二次世界大戦後、アメリカ、ソ連とヨーロッパ諸国(西ヨーロッパ、東ヨーロッパ、南ヨーロッパ)の関係はどのようなもので | | |

| | | | |
|---------------|---|-----|---|
| 容 | したか。・アメリカやソ連は、これらヨーロッパ諸国との関係で、どのような利益と損失を得ましたか。・逆に、ヨーロッパ諸国はアメリカやソ連との関わりによって、どのような利益と損失を受けましたか。 | 時間数 | 2 |
| 12週目 | | | |
| 授業学修内容 | 第二次世界大戦後、最強の強国となったアメリカはベトナム戦争に介入する過程で大きく行き詰まり、国内世論は戦争への関与の是非等をめぐって激しく分裂しました。このアメリカとベトナム戦争の関わりについて学習します。また、内容に関係したレポート課題がです。 | 時間数 | 5 |
| 授業外学修内容 | 講義の最後にだされるレポート課題を作成し、提出しなさい。 | 時間数 | 5 |
| 13週目 | | | |
| 授業学修内容 | 前回の内容に関係したテーマについて、グループ・ディスカッションを行います。 | | |
| 授業外学修内容 | ミニ課題図書の中に8章と17章を読んで答えなさい。インドシナ紛争、ベトナム戦争で、フランスとアメリカの両方が結局勝利することができなかったのは、どのような理由があると思いますか。 | 時間数 | 2 |
| 14週目 | | | |
| 授業学修内容 | パレスチナ問題、カンボジアのポルポト政権の虐殺、旧ユーゴスラビア連邦の解体に伴う内戦など、主に1970年代以降の紛争と、それに伴い世界各地で発生した難民の苦難について学習します。 | | |
| 授業外学修内容 | 講義の最後に出されるレポート課題を作成し、提出しなさい。 | 時間数 | 3 |
| 15週目 | | | |
| 授業学修内容 | 前回の内容に関係したテーマについて、グループ・ディスカッションを行います。 | | |
| 授業外学修内容 | ミニ課題これまでの講義を振り返り、今後さらに深く学習したいテーマを3つ挙げなさい。 | 時間数 | 2 |
| 上記の授業外学修時間の合計 | | 38 | |
| その他に必要な自習時間 | | 52 | |

| | | | | | |
|----------------|--|-------------------|--|---------|---|
| Number | INR-2-001-k | Subject | Understanding the History of Internation | | |
| Name | 鈴木 鉄忠 (Suzuki Tetsutada)、西舘 崇 (Nishitate Takashi)、張 渭涛 (Zhang Weitao)、呉 宣児 (Oh Seon Ah)、謝 志海 (Xie Zhihai)、岡井 宏文 (Okai Hirofumi) | Year and Semester | First semester for 2020 | Credits | 2 |
| Course outline | This lecture will be learning main great events and the trend of 20th century with the aid of visual materials. During the era over the past century, the World War broke out two times, and the colonization was extended around the world by West Europe and Japan. Hence, independence movements and the birth of emerging countries, violent confrontations and conflicts were risen gradually due to above. Moreover the upheaval of lifestyle has been inducing by the developments of technology and industry. This lecture will request all sophomores of International Course to learn and discuss while watching the video material. | | | | |